

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 19 年 12 月 20 日 (2007.12.20)

【公開番号】特開 2006-174193 (P2006-174193A)  
 【公開日】平成 18 年 6 月 29 日 (2006.6.29)  
 【年通号数】公開・登録公報 2006-025  
 【出願番号】特願 2004-365254 (P2004-365254)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 M      3/42      (2006.01)**

**H 0 4 M      11/00      (2006.01)**

【F I】

H 0 4 M      3/42      U

H 0 4 M      11/00      3 0 2

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 10 月 26 日 (2007.10.26)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

それぞれが、入出力インターフェースと、C P U と、アプリケーションプログラムを記憶したメモリとを有する複数のアプリケーションサーバと、  
 入出力インターフェースと、C P U と、上記複数のアプリケーションサーバにそれぞれ対応した複数のアプリケーションクライアントプログラムを記憶したメモリとを有する端末と、  
 入出力インターフェースと、C P U と、上記端末のプレゼンス情報を記憶したメモリとを有するプレゼンスサーバを備え、  
 上記プレゼンスサーバは、上記複数のアプリケーションのうちの一のアプリケーションに関する上記端末のプレゼンス情報登録を上記端末から受けた場合に、該一のアプリケーションと同一のグループに属する少なくとも一つの他のアプリケーションに関する上記端末のプレゼンス情報を上記一のアプリケーションと同期させることを特徴とするプレゼンス統合管理システム。

【請求項 2】

上記同一のグループに属する複数のアプリケーションは、同時に使用することができない複数のアプリケーションであることを特徴とする請求項 1 記載のプレゼンス統合管理システム。

【請求項 3】

請求項 1 記載のプレゼンス統合管理システムであって、  
 上記プレゼンスサーバのメモリには、  
 上記複数のアプリケーションのそれぞれの種別を示すアプリケーション識別子、および上記複数のアプリケーションのグループを示すグループ識別子を記憶したアプリケーション種別テーブルと、  
 各アプリケーションに関するプレゼンス情報を記憶したプレゼンス情報テーブルとが記憶されていることを特徴とするプレゼンス統合管理システム。

【請求項 4】

請求項 1 記載のプレゼンス統合管理システムであって、

上記一のアプリケーションに関する上記端末のプレゼンス情報が「使用中」である場合、同一グループに属する上記他のアプリケーションに関する上記端末のプレゼンス情報を「競合中」に更新することを特徴とするプレゼンス統合管理システム。

【請求項 5】

請求項 1 記載のプレゼンス統合管理システムであって、  
上記一のアプリケーションに関する上記端末のプレゼンス情報が「使用可能」である場合、同一グループに属する上記他のアプリケーションに関する上記端末のプレゼンス情報を「使用可能」に更新するプレゼンス統合管理システム。

【請求項 6】

請求項 1 記載のプレゼンス統合管理システムであって、  
上記端末からのプレゼンス情報登録の際に、上記一のアプリケーションの識別子を上記端末から上記プレゼンスサーバに送信することを特徴とするプレゼンス統合管理システム。

【請求項 7】

請求項 1 記載のプレゼンス統合管理システムであって、  
プレゼンスサーバから他の端末または他のサーバにプレゼンス情報を通知する際に、アプリケーションの識別子を上記プレゼンスサーバから上記他の端末または他のサーバに送信することを特徴とするプレゼンス統合管理システム。

【請求項 8】

請求項 1 記載のプレゼンス統合管理システムであって、  
上記プレゼンスサーバが上記端末のプレゼンス情報を同期させる代りに、  
上記端末のメモリが、プレゼンス統合クライアントを有し、  
上記一のアプリケーションに関するプレゼンス情報を登録する際に、上記プレゼンス統合クライアントが上記一のアプリケーションと同一のグループに属するアプリケーションに関するプレゼンス情報も同期をとって上記プレゼンスサーバに登録することを特徴とするプレゼンス統合管理システム。

【請求項 9】

端末及び複数のアプリケーションサーバと接続され、  
入出力インターフェースと、  
CPUと、  
上記端末のプレゼンス情報を記憶したメモリとを有するプレゼンスサーバであって、  
上記複数のアプリケーションのうちの一のアプリケーションに関する上記端末のプレゼンス情報登録を上記端末から受けた場合に、該一のアプリケーションと同一のグループに属する少なくとも一つの他のアプリケーションに関する上記端末のプレゼンス情報を上記一のアプリケーションと同期させることを特徴とするプレゼンスサーバ。

【請求項 10】

上記同一のグループに属する複数のアプリケーションは、同時に使用することができない複数のアプリケーションであることを特徴とする請求項 9 記載のプレゼンスサーバ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】プレゼンス統合管理システム及びプレゼンスサーバ

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

プレゼンス情報通知要求機能、グループ登録機能を実現するための、プレゼンスクライ

アント 1 - P C のフローチャートを図 2 2 に示す。プレゼンスクライアント 1 - P C は起動時に処理を開始 ( P C C - 0 0 1 ) し、イベント処理ループ ( P C C - 0 0 4 ) に入る。イベントとは、ネットワークを介したメッセージ受信や、キー押下などによるユーザ操作を指す。ユーザがプレゼンス情報通知要求ボタンを押下した場合 ( P C C - 0 0 7 )、プレゼンスクライアント 1 - P C はプレゼンス情報通知要求メッセージを、プレゼンスサーバ 3、プレゼンス統合クライアント 1 - P のいずれかに送信する ( P C C - 0 1 0 )。送信先はシステム構成に依存する。ユーザがグループ登録ボタンを押下した場合 ( P C C - 0 1 3 )、プレゼンスクライアントはグループ登録メッセージを、プレゼンスサーバ 3、プレゼンス統合クライアント 1 - P のいずれかに送信する ( P C C - 0 1 6 )。イベント処理ループはプレゼンスクライアント 1 - P C の終了時に同時に終了 ( P C C - 0 1 9 ) し、プレゼンスクライアント 1 - P C は終了する ( P C C - 0 2 2 )。なお、プレゼンスクライアント 1 - P C とプレゼンス統合クライアント 1 - P は、一つのアプリケーションとして実装することもできる。

尚、本願発明は下記の解決手段によっても実現できる。

( 解決手段 1 )

端末及び複数のアプリケーションサーバと接続され、入出力インターフェースと、C P U と、上記端末のプレゼンス情報を記憶したメモリとを有するプレゼンスサーバであって、上記複数のアプリケーションのうちの一のアプリケーションに関する上記端末のプレゼンス情報登録を上記端末から受けた場合に、該一のアプリケーションと同一のグループに属する少なくとも一つの他のアプリケーションに関する上記端末のプレゼンス情報を上記一のアプリケーションと同期させることを特徴とするプレゼンスサーバ。

( 解決手段 2 )

解決手段 1 記載のプレゼンスサーバであって、上記メモリには、上記複数のアプリケーションのそれぞれの種別を示すアプリケーション識別子、および上記複数のアプリケーションのグループを示すグループ識別子を記憶したアプリケーション種別テーブルと、各アプリケーションに関するプレゼンス情報を記憶したプレゼンス情報テーブルとが記憶されていることを特徴とするプレゼンスサーバ。

( 解決手段 3 )

解決手段 1 記載のプレゼンスサーバであって、上記一のアプリケーションに関する上記端末のプレゼンス情報が「使用中」である場合、同一グループに属する上記他のアプリケーションに関する上記端末のプレゼンス情報を「競合中」に更新することを特徴とするプレゼンスサーバ。

( 解決手段 4 )

解決手段 1 記載のプレゼンスサーバであって、上記一のアプリケーションに関する上記端末のプレゼンス情報が「使用可能」である場合、同一グループに属する上記他のアプリケーションに関する上記端末のプレゼンス情報を「使用可能」に更新するプレゼンスサーバ。

( 解決手段 5 )

解決手段 1 記載のプレゼンスサーバであって、上記端末からのプレゼンス情報登録の際に、上記一のアプリケーションの識別子を上記端末から受信することを特徴とするプレゼンスサーバ。

( 解決手段 6 )

解決手段 1 記載のプレゼンスサーバであって、他の端末または他のサーバにプレゼンス情報を通知する際に、アプリケーションの識別子を上記他の端末または他のサーバに送信することを特徴とするプレゼンスサーバ。

( 解決手段 7 )

端末及び複数のアプリケーションサーバと接続され、上記端末のプレゼンス情報を記憶したメモリを有するプレゼンスサーバで実行可能なプレゼンス情報管理プログラムであって、上記複数のアプリケーションのうちの一のアプリケーションに関する上記端末のプレゼンス情報登録を上記端末から受信するステップと、該一のアプリケーションと同一のグ

ループに属する少なくとも一つの他のアプリケーションに関する上記端末のプレゼンス情報を上記一のアプリケーションと同期させるステップとを有するプレゼンス情報管理方法を上記プレゼンスサーバで実行可能なプレゼンス情報管理プログラム。